

制定日 2016年4月 1日

**Safety Data Sheet**  
安全性データシート

株式会社コベルコ科研  
兵庫県高砂市荒井町新浜 2 丁目 3-1  
担当部門 ターゲット事業本部技術部  
電話番号 079-445-9024  
FAX 番号 079-445-9025  
緊急連絡先 同上

## 1. 品名

鉄
---

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類	項 目	Fe(粉末)
物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分1
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類対象外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類対象外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入・ガス)	分類対象外
	急性毒性(吸入・蒸気)	分類対象外
	急性毒性(吸入・粉塵、ミスト)	区分外
	急性毒性(吸入・粉塵、ミスト)	分類対象外
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性)
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない
ラベル要素	絵表示又はシンボル	
	注意喚起語	危険
	危険有害性情報	可燃性固体 呼吸器への刺激の恐れ

GHS分類	項目	Fe(粉末)
ラベル要素 (続き)	注意書き	<p><b>【安全対策】</b>使用前に取扱説明書入手すること。            全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。            熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざけること。-禁煙。            この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。            個人用保護具や換気装置を使用し、曝露をさけること。            換気が十分でない場合には呼吸用保護具を着用すること。            保護手袋を着用すること。            粉じんを吸入しないこと。            取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p><b>【救急処置】</b>            吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。            眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。            皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。            曝露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。            皮膚刺激、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。            気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。</p> <p><b>【保管】</b>容器を密閉して換気の良い場所で施錠して保管すること。  <b>【廃棄】</b>内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>
	国・地域情報:	-----

### 3. 組成・成分情報

単一物質・混合物の区別	単一物質
化学名	・鉄
化学式または構造式	Fe
官報公示整理番号 (安衛法、化審法)	-----
CAS番号	7439-89-6
国連分類および国連番号	-----

### 4. 応急措置

目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	付着または接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流し、速やかに医師の診察を受ける。
吸入した場合	直ちに被災者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気の場所に移し、速やかに医師の診察を受ける。呼吸困難または呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。
飲み込んだ場合	意識があるときは吐かせて口の中を水でよく洗浄する。直ちに医師の手当てを受ける。

## 5. 火災時の配置消火剤

消火剤	乾燥砂、乾燥消石灰、パーミキュライト、金属火災用消火剤、塩化カルウム 使ってはならない消火剤:水、散水(注水厳禁)、泡消火剤
火災時の特定危険 有害性	火災によって刺激性又は毒性のガスを発生する恐れがある。 消火水は環境汚染を引き起こす恐れがある。 環境に影響を出さないよう、できるだけ流出を防止する。
特有の消火方法	危険でなければ火災地区から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 容器内に水を入れてはならない。 火災発生場所周辺は立ち入り禁止にする。
消火を行う者の保護	有毒ガス等の接触を避けるため、消火作業の際は、風上から行い、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	全ての着火源を取除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 密閉された場所に立ち入る前に換気する
環境に対する注意事項:	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 環境中に放出してはならない。
回収、中和:	漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化の 方法・機材:	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策:	すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	<b>技術的対策:</b> 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 粉じんの発生・堆積を防ぐ。 <b>局所排気装置・全体換気:</b> 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気装置、全体換気を行なう。 <b>安全取扱い注意事項:</b> 火気厳禁。禁水。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 <b>接触回避:</b> 「10. 安定性及び反応性」を参照。
貯蔵	<b>技術的対策:</b> 保管場所は、製品が汚染されないよう清潔にし、取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 <b>混触危険物質:</b> 第10項を参照 <b>保管条件:</b> 直射日光や高温高湿を避ける。 施錠して保管すること。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 <b>容器包装材料:</b> ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラス等。

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	-----	
許容濃度	日本産業衛生学会(2010年版) 1mg/m <sup>3</sup> (吸入性粉じん) 4mg/m <sup>3</sup> (総粉じん)(酸化鉄として) ACGIH(2010年) TLV-TWA 5mg/m <sup>3</sup> (ヒューム)(酸化鉄として)	
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 粉じん、ヒュームが発生するときは、 換気装置を設置する。	
保護具	呼吸用保護具:	吸保護具の使用の要求される環境下では、呼吸保護具を着用する。
	保護眼鏡:	適当な保護眼鏡もしくは安全眼鏡を着用する。
	保護手袋:	皮膚の露出を防ぐために適当な手袋を着用する。
	保護衣:	皮膚の露出を防ぐために適当な保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観等	灰白色
沸点:°C	2750°C
蒸気圧:Pa(20°C)	情報が入手できません。
揮発性	情報が入手できません。
融点:°C	1540°C
比重または嵩比重	7.87
溶解度	水%(°C):不溶 その他の溶媒%(°C):希酸には水素を発生して溶ける。希アルカリに不溶。濃アルカリでは酸その存在で熱すると溶ける。
その他	-----

## 10. 安定性及び反応性

引火点:°C	情報が入手できません。
発火点:°C	情報が入手できません。
爆発限界:上眼% 下眼%	情報が入手できません。
可燃性	粉じん状態では、小さな火源でも爆発を起こすことがある。
発火性(自然発火性・水との反応性)	加熱したものに注水すると、水蒸気爆発を起こす。
酸化性	情報が入手できません。
自己反応性・爆発性	情報が入手できません。
粉じん爆発性	粉じん状態では、小さな火源でも爆発を起こすことがある。
安定性・反応性	<b>安定性:</b> 通常の取扱い条件においては安定。 湿気により、徐々に酸化される。 <b>危険有害反応可能性:</b> 湿気により、酸化蓄熱し、赤熱することがある。 希塩酸、希硫酸などの酸類に溶け、水素ガスを発生し、火災、爆発の危険がある。
その他	<b>避けるべき条件:</b> 粉じんが空気と混合すると、粉じん爆発の可能性がある。 熱、日光、湿気、水。 <b>混触危険物質:</b> 酸類。 <b>危険有害な分解生成物:</b> データなし

## 11. 有害性情報

腐食性	情報が入手できません。
刺激性(皮膚、眼)	情報が入手できません。
感作性	情報が入手できません。
急性毒性 (50%致死量を含む)	経口:ラット LD50=30g/kg (RTECS)に基づき、区分外とした。 経皮:データなし 吸入(蒸気):データなし 吸入(粉じん):データなし 特定標的臓器・全身毒性(単回曝露):粉じんを吸入すると、のど、気管支などの刺激性があることから、区分3(気道刺激性)とした。
亜急性毒性	情報が入手できません。
慢性毒性	情報が入手できません。
がん原性	情報が入手できません。
変異原性 (微生物、染色体異)	情報が入手できません。
生殖毒性	情報が入手できません。
催奇毒性	情報が入手できません。
その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)	湿気により、酸化蓄熱し、赤熱することがある。

## 12. 環境影響情報

情報が入手できません。
-------------

## 13. 廃棄上の注意

再利用のため回収します。
--------------

## 14. 輸送上の注意

キズが付きやすいので落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。
-----------------------------------

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	施行令別表第1危険物(発火性のもの)
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	第2条危険物第2類鉄粉(500kg)第2種可燃性 (目開きが150マイクロメートルの網ふるいを通過するものが50%以上のもの)
危険物船舶運送及び貯蔵規則	第3条危険物告示別表第6可燃性物質類・自然発火性物質 J-上/禁止 等級1
PRTR法	非該当

## 16. その他

その他 (記載内容の 問い合わせ先、 引用文献等)	記載内容の問い合わせ先	株式会社コベルコ科研
	引用文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ACGIH発行TLV<sub>s</sub><sup>®</sup> and BEI<sub>s</sub><sup>®</sup>2005</li> <li>・厚生労働省:職場の安全サイト <a href="http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx">http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx</a></li> <li>・安全衛生情報センター <a href="http://www.jaish.gr.jp/">http://www.jaish.gr.jp/</a> <a href="http://www.nihs.go.jp/ICSC/">http://www.nihs.go.jp/ICSC/</a> 他</li> </ul>
	改訂履歴	Rev.0:新規制定

\*危険・有害性の情報は十分ではありません。また、本文書は安全の保証書ではありません